

国東市第9期介護保険事業計画等の策定に向けた
国東市元気高齢者健やかサロン活動団体アンケート調査
【結果報告書】

令和5年10月

目次

I. 調査概要	… P 2
II. 国東市元気高齢者健やかサロン活動団体アンケート調査	
問1 サロンの活動内容について	
(1) お住まいの地域	… P 3
(2) サロン活動を開始したきっかけ	… P 4
(3) 活動の平均参加人数	… P 5
(4) 活動年数	… P 5
(5) 1ヶ月の平均活動回数	… P 6
(6) 主な活動内容	… P 7
— 体操を行う頻度	… P 8
— 体操を活動に取り入れたいか	… P 8
(7) 活動をしている中でよかったこと	… P 9
(8) 活動をしている中での困り	… P 10
(9) 参加者を増やす工夫	… P 11
(10) 地域の中でサロン活動を進めていくうえで必要な条件	… P 12
(11) 国東市や市社協に期待すること	… P 12
問2 活動交付金について	
(1) 活動交付金の主な支出内容	… P 13
(2) 食事会奨励金を申請したか	… P 14
— 食事会を実施しない理由	… P 14
(3) 介護予防奨励金を申請したか	… P 15
— 出前講座を受講しない理由	… P 15
(4) 活動交付金のあり方についてのご意見・ご感想	… P 16
問3 介護予防事業についてのご意見・ご感想	… P 19

I. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は「第9期介護保健事業計画及び高齢者福祉計画」の策定に資するものであり、サロン団体の活動状況などを把握し、これからの介護予防施策の展開及び充実を図ることを目的としている。

(2) 調査対象者

元気高齢者健やかサロン活動団体 180 団体

(3) 調査方法と実施時期

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査期間：令和4年12月1日～令和5年1月6日

(4) 回収結果

回収団体数	回収率
151	83.9%

(5) 報告書を見る際の注意点

○調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。

○図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表す。

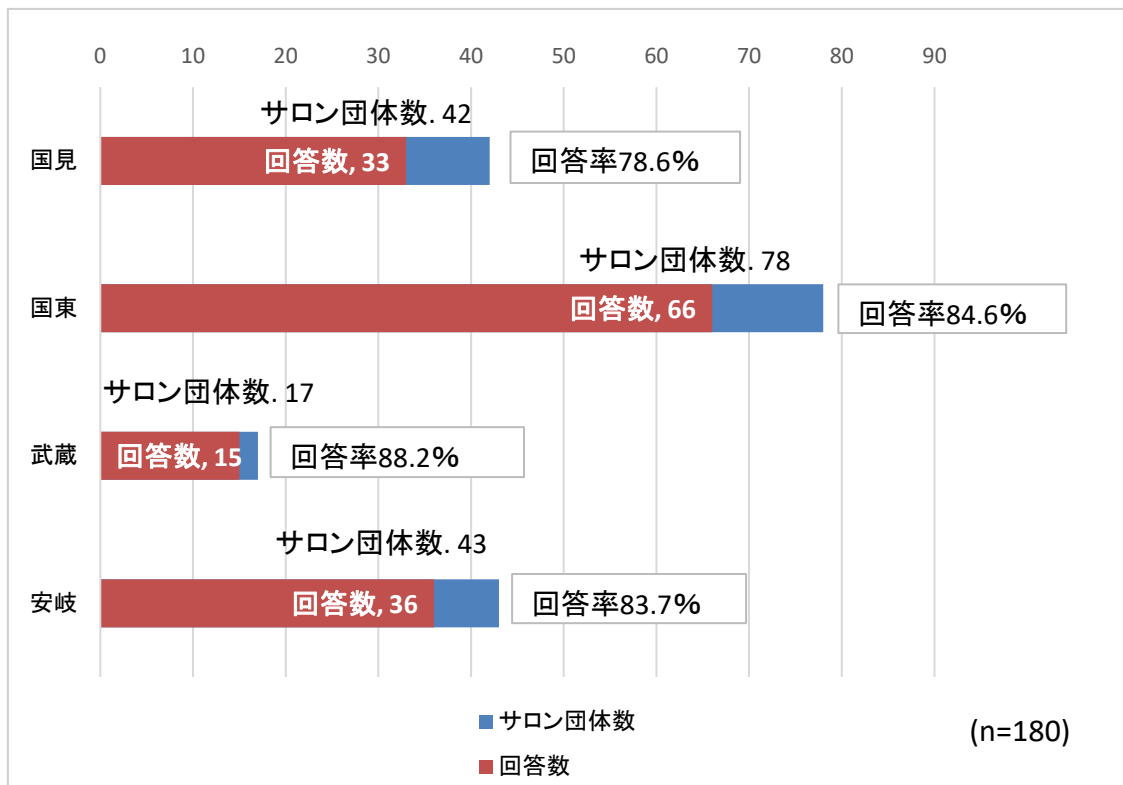
○複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。

Ⅱ. 国東市元気高齢者健やかサロン活動団体アンケート調査

問1 サロンの活動内容について

(1) お住まいの地域をお答えください

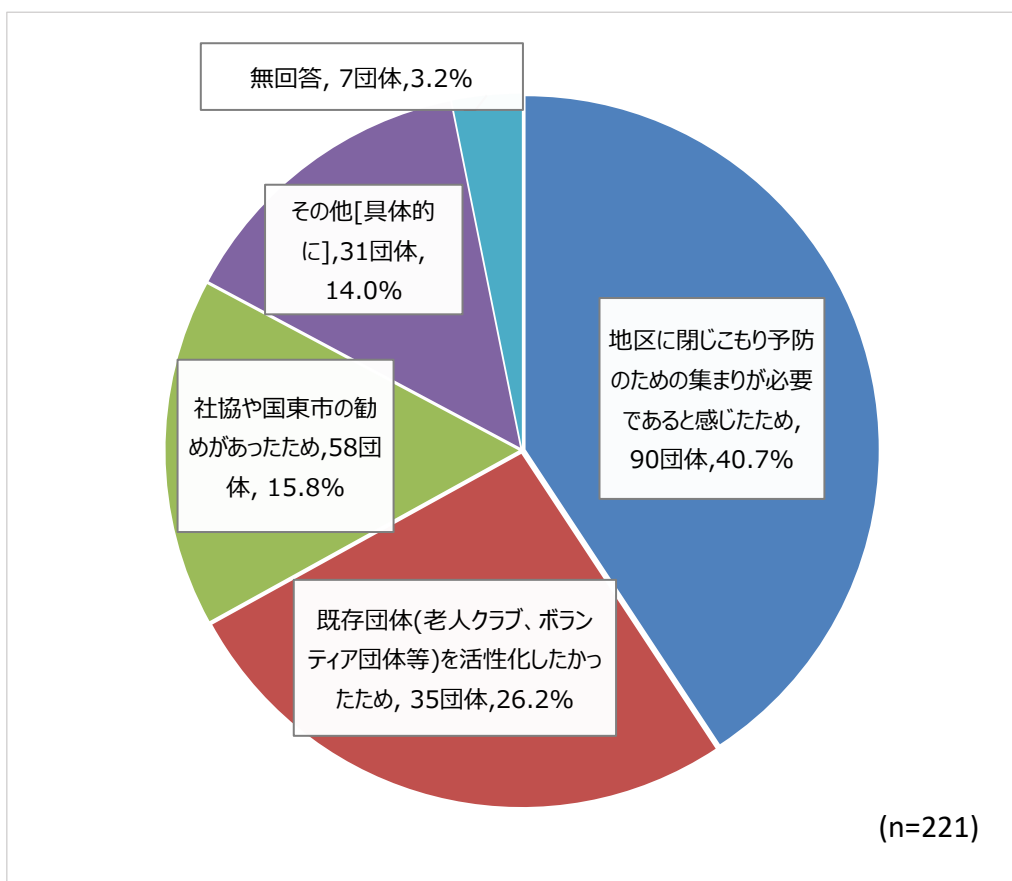
サロン団体数は「国東町」が最も多い。回答率は「武蔵町」が最も高く、団体数に対し88.2%となっている。



(2) サロン活動を開始したきっかけについて教えてください
(複数回答可：2つまで)

サロンを開始したきっかけは「地区に閉じこもり予防のための集まりが必要であると感じたため」が最も多く 40.7%を占め、次いで「既存団体(老人クラブ、ボランティア団体等)を活性化しなかったため」が 26.2%を占めている。

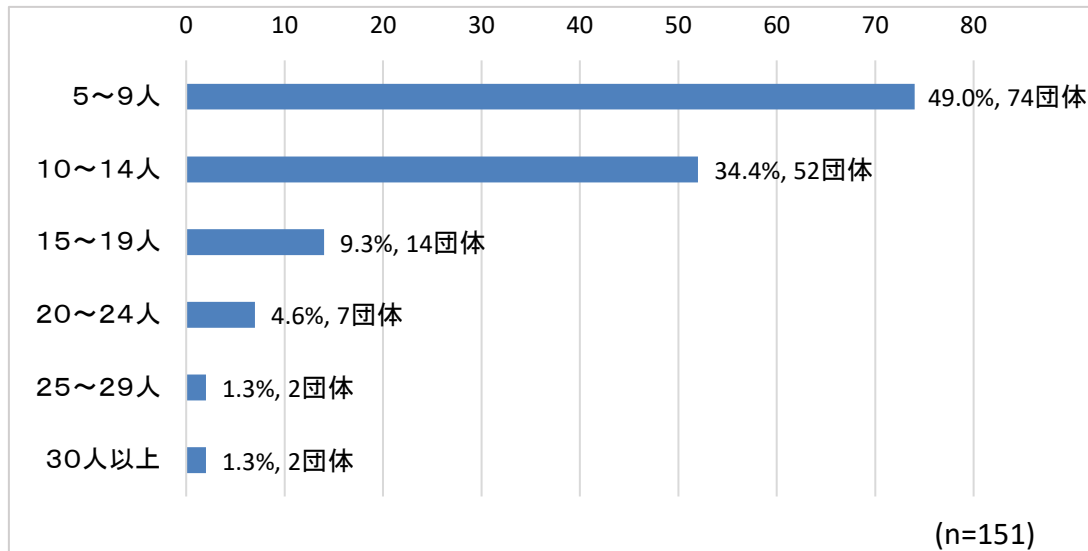
その他にあげられた事柄には、「地区の役員／保健推進委員になったから」「地域の方々の好ましい関係づくりをしたい」等がある。



その他 内容
地区の役員／保健推進委員になったから 3 件
先輩からの引継ぎ 4 件
地域の方々の好ましい関係づくりをしたい 5 件
以前からの活動をサロン化した 5 件
運動不足解消、健康維持の為
老人クラブがなくなり、新しい組織を作った
住民の希望

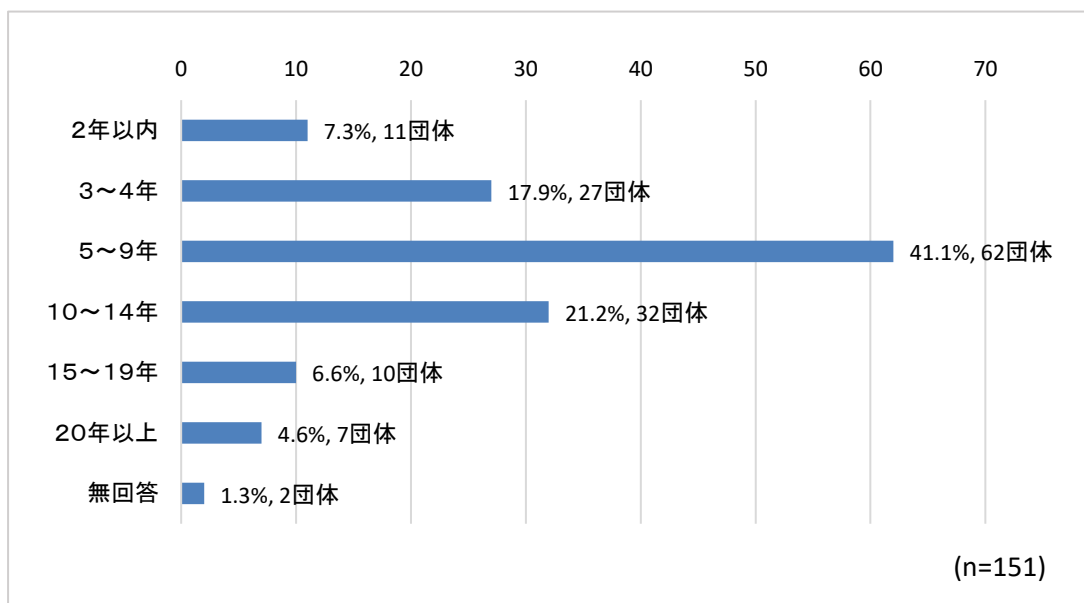
(3) 活動の平均参加人数を教えてください

活動の平均参加人数は「5～9人」が最も多く74団体で全体の49.0%を占めている。次いで「10～14人」が52団体で34.4%、「15～19人」が14団体で9.3%である。前回の調査に比べて、「5～9人」の割合が19.2ポイント増加し、「15～19人」の割合が11.9ポイント減少しており、1団体当たりの参加人数が減少している傾向がみられる。



(4) サロン活動は何年続けていますか

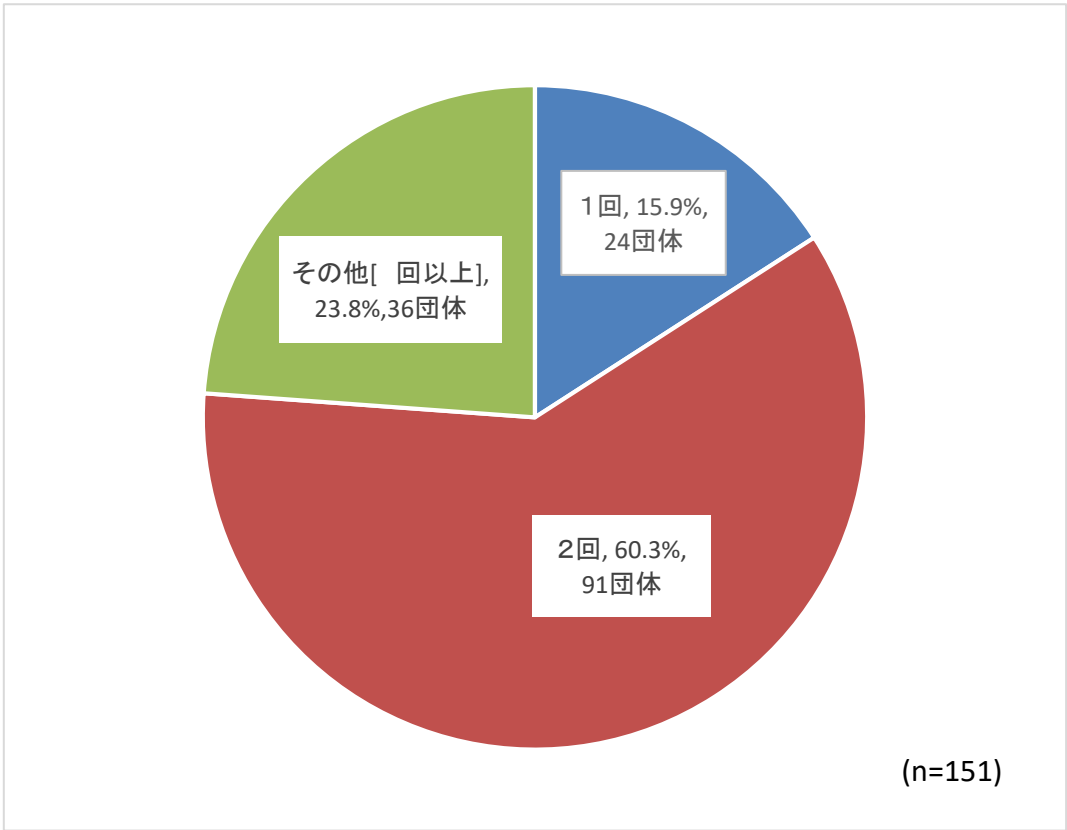
サロンの活動年数は「5～9年」が最も多く62団体で全体の41.1%を占めている。次いで「10～14年」が32団体で21.2%、「3～4年」が27団体で17.9%である。活動年数が「2年以内」の団体が11団体しかなく、新規の立ち上げが減少している。



(5) 1ヶ月に平均何回サロン活動を行っていますか

1ヶ月の平均活動回数は「2回以上」が最も多く91団体で全体の60.3%を占めている。次いで「その他 [回以上]」が36団体で23.8%、「1回」が24団体で15.9%である。

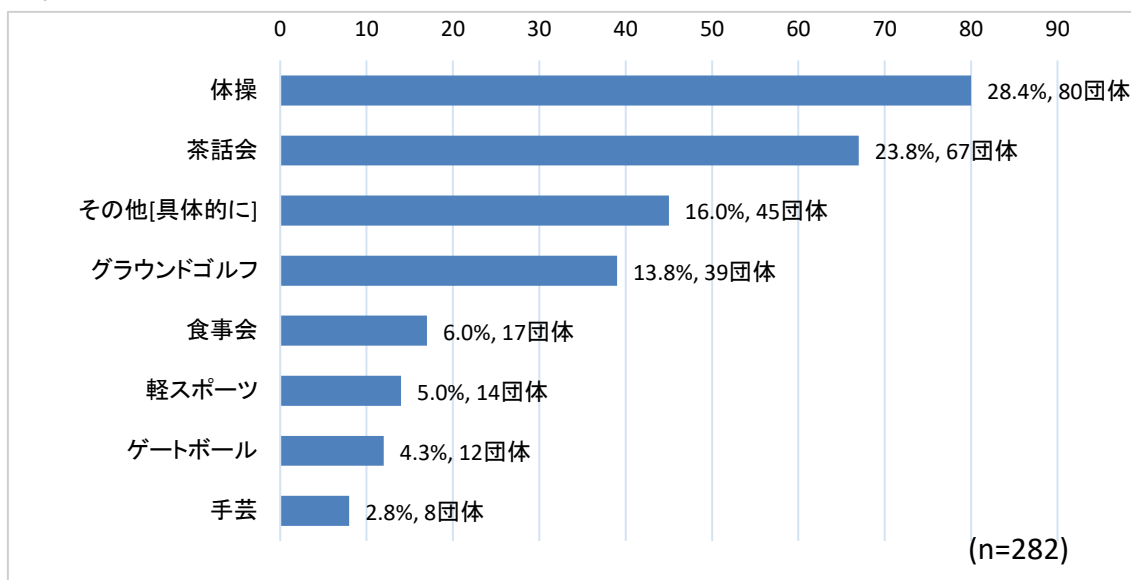
その他の内訳は「4回以上」が13団体で最も多く、「8回以上」が6団体、「10回以上」が4団体と続いている。



その他 [回以上]	団体数	その他 [回以上]	団体数
4回以上	13団体	12回以上	1団体
8回以上	6団体	15回以上	1団体
10回以上	4団体	16回以上	1団体
3回以上	3団体	毎日	1団体
6回以上	1団体	5回以上	1団体
1~2回	1団体	24日間の内雨天でない日	1団体
9回以上	1団体	未記入	1団体

(6) サロン活動の主な内容を教えてください(複数回答可：2つまで)

サロンの主な活動内容は「体操」が最も多く 80 団体で全体の 28.4%を占めている。次いで「茶話会」が 67 団体で 23.8%、「その他」が 45 団体で 16.0%を占めている。前回の調査に比べて、「食事会」が 7.6 ポイント減少している。

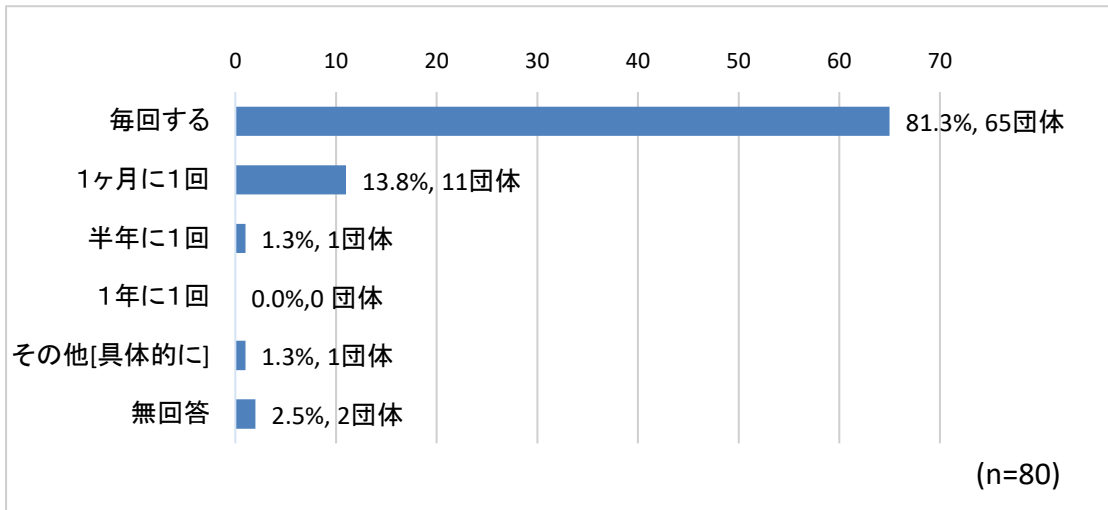


その他 内容	
ゲーム、脳トレ、レクリエーション 18 団体	園芸、花壇手入れ 6 団体
カラオケ 4 団体	ウォーキング 4 団体
川柳句会 3 団体	講話、研修会 3 団体
卓球 3 団体	清掃奉仕 2 団体
グラウンドの整備、草取 2 団体	花見会、季節行事 2 団体
ダンス	座談会
詩吟	塗り絵
調理実習	折り紙
生け花	パークゴルフ
歌唱	

(6) で[3. 体操と回答した方]のみお答えください

①体操を行う頻度を教えてください

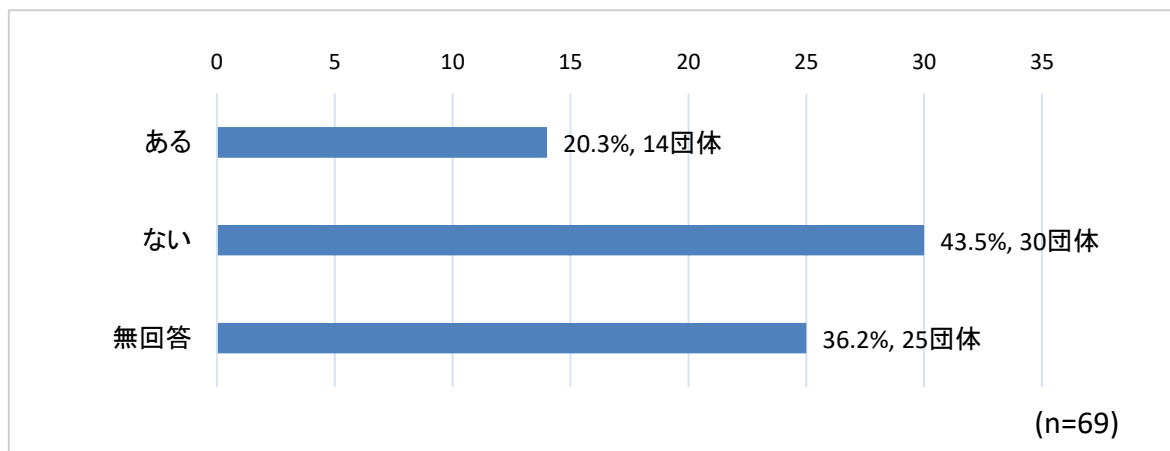
体操の頻度は「毎回する」が65団体で81.3%と最も多くを占めており、次いで「1ヶ月に1回」が11団体で13.8%を占めている。



(6) で[3. 体操以外回答した方]のみお答えください

①筋力向上・維持を目的とした体操を活動に取り入れたいという意向がありますか？

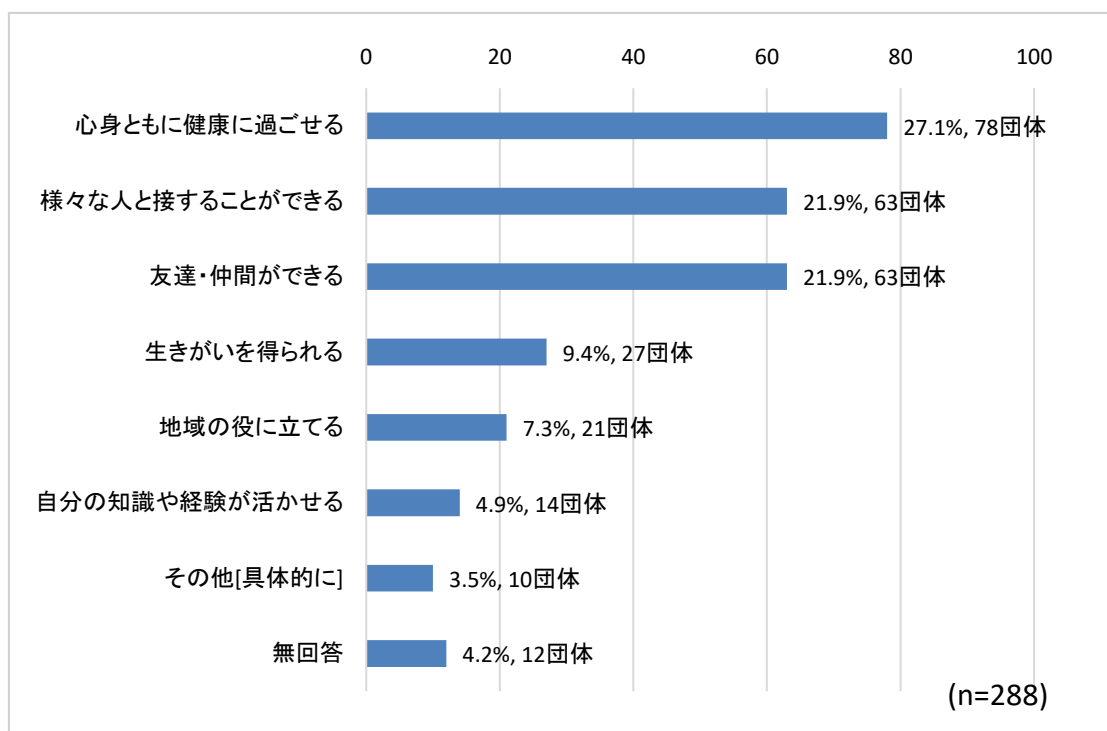
体操を取り入れたいという意向が「ない」は30団体で43.5%と最も多く、次いで「無回答」が25団体で36.2%、「ある」が14団体で20.3%を占めている。



(7) 現在活動をしている中でよかったことはなんですか
(複数回答可：2つまで)

活動している中でよかったことは「心身ともに健康に過ごせる」が最も多く78団体で全体の27.1%を占めている。次いで「様々な人と接することができる」「友達・仲間ができる」がそれぞれ63団体で21.9%を占めている。

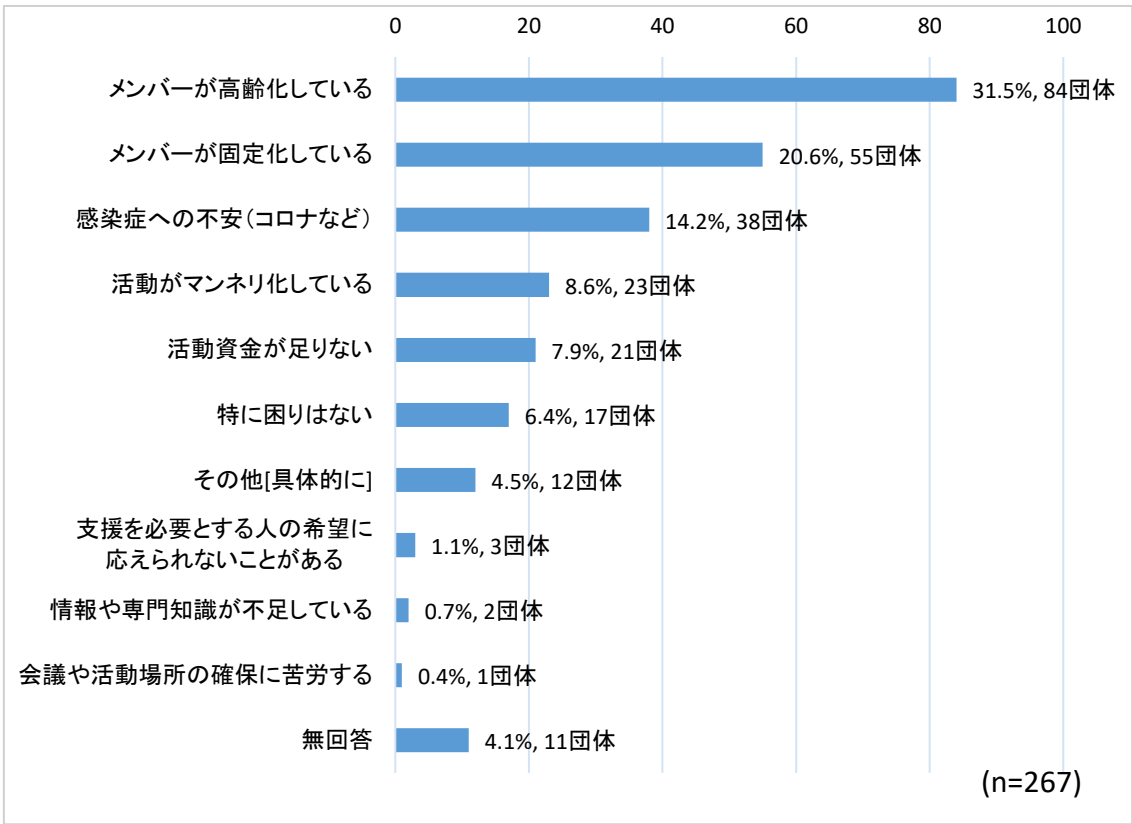
その他には「地域の人達と話ができる」、「高齢者の安否確認や健康状態の把握にもつながる」、「おしゃべりの中で知識が増える、情報交換、楽しくなる」等があげられている。



(8) 現在活動をしている中で困っていることはなんですか
(複数回答可：2つまで)

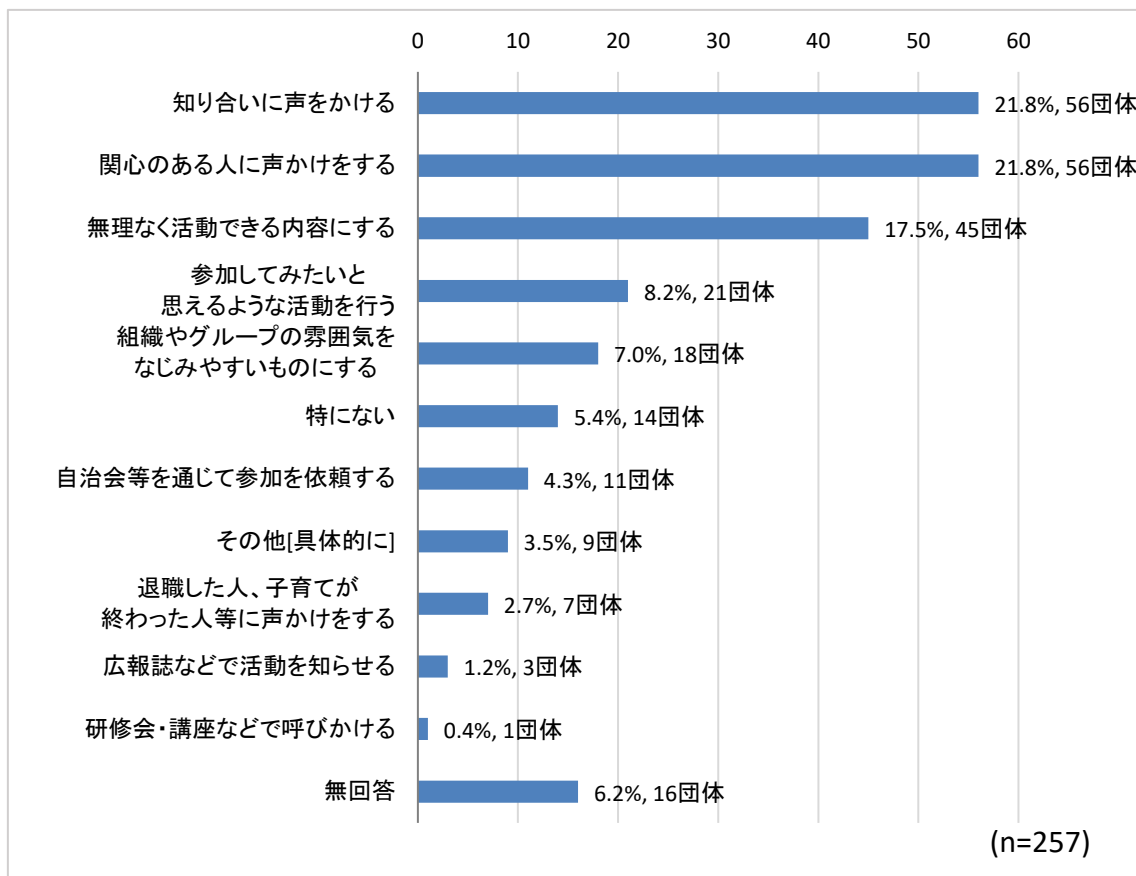
活動している中で困っていることは「メンバーが高齢化している」が最も多く84団体で全体の31.5%を占めている。次いで「メンバーが固定化している」が55団体で20.6%、「感染症への不安(コロナなど)」が38団体で14.2%を占めている。

その他には「補助金の減額と書類作成が以前より難しくなってきた」「新規参加者がいない」「指導者の高齢化」等があげられている。



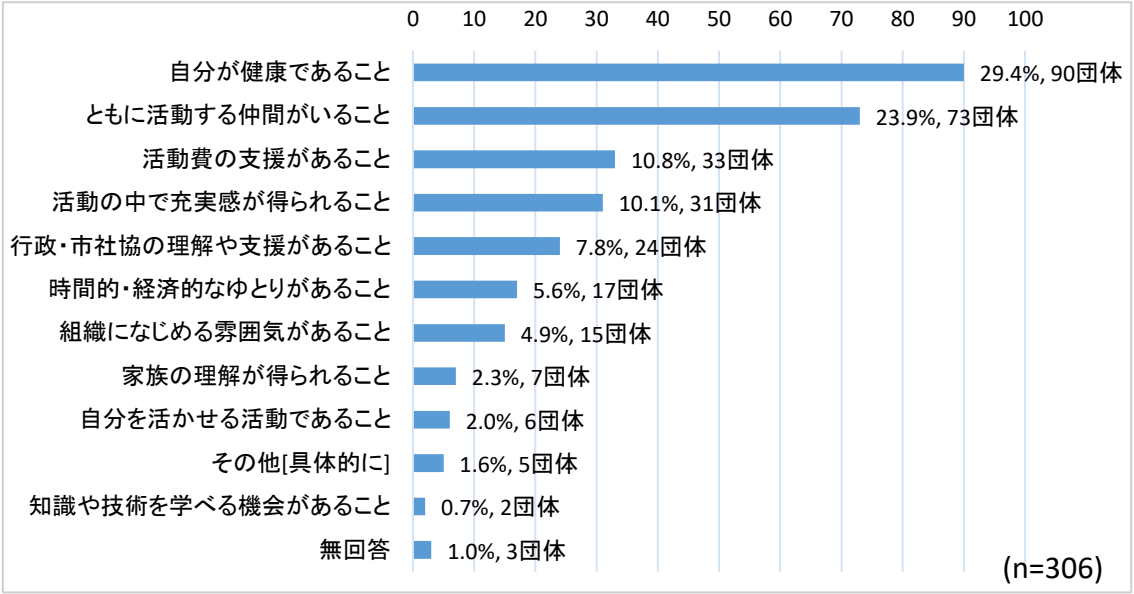
(9) 現在行っている参加者を増やす工夫があればお答えください
 (複数回答可：2つまで)

参加者を増やす工夫は「知り合いに声をかける」「関心のある人に声をかけをする」が同率で最も多く、56 団体で全体の 21.8%を占めている。次いで「無理なく活動できる内容にする」が 45 団体で 17.5%を占めている。



(10) 地域の中でサロン活動を進めていくうえで必要な条件はなんですか？
(複数回答可：2つまで)

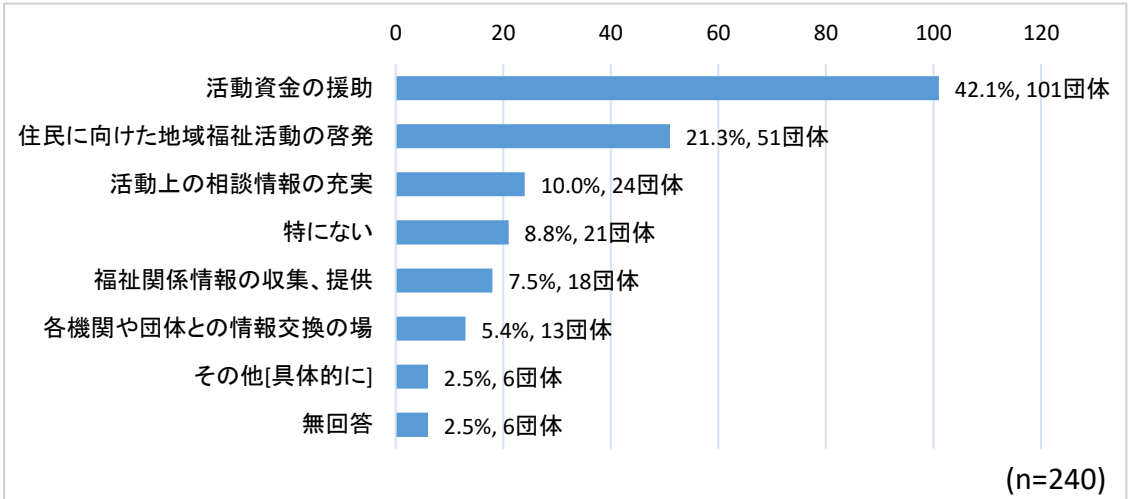
サロン活動を進めていくうえで必要な条件は「自分が健康であること」が最も多く 90 団体で全体の 29.4%を占めている。次いで「ともに活動する仲間がいること」が 73 団体で 23.9%、「活動費の支援があること」が 33 団体で 10.8%を占めている。



(11) 国東市や市社協に期待することはなんですか？(複数回答可：2つまで)

国東市や市社協に期待することは「活動資金の援助」が最も多く 101 団体で全体の 42.1%を占めている。次いで「住民に向けた地域福祉活動の啓発」が 51 団体で 21.3%、「活動上の相談情報の充実」が 24 団体で 10.0%を占めている。

その他には「提出書類を簡素化して欲しい」「レクリエーション用具を増やしてほしい」等があげられている。

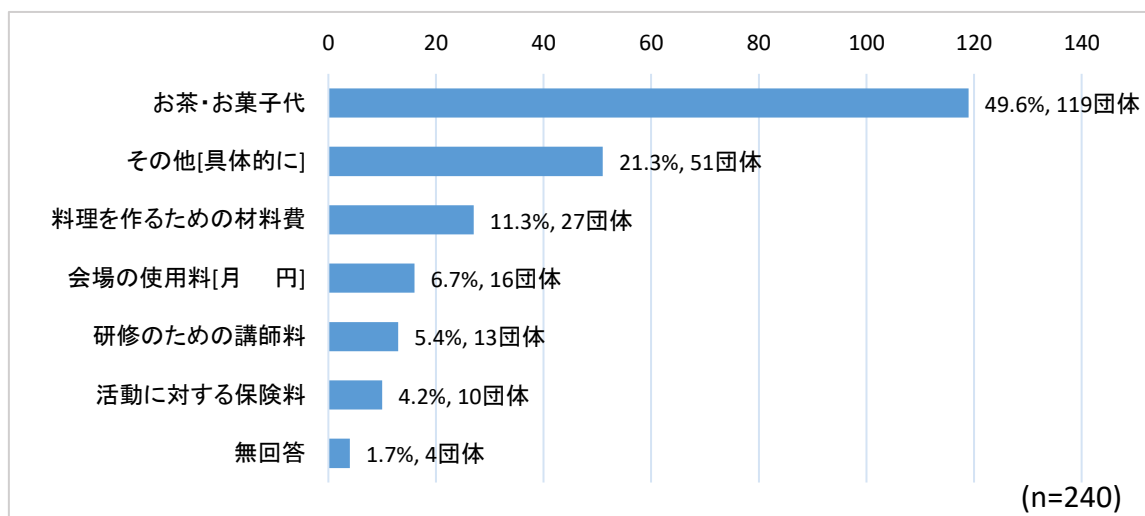


問2 活動交付金について

(1) 活動交付金の主な支出内容はなんですか？(複数回答可：2つまで)

活動交付金の主な支出内容は「お茶・お菓子代」が最も多く 119 団体で全体の 49.6%を占めている。次いで「その他」が 51 団体で 21.3%、「料理を作るための材料費」が 27 団体で 11.3%を占めている。

前回の調査に比べ「料理を作るための材料費」の割合が 8.1 ポイント減少している。



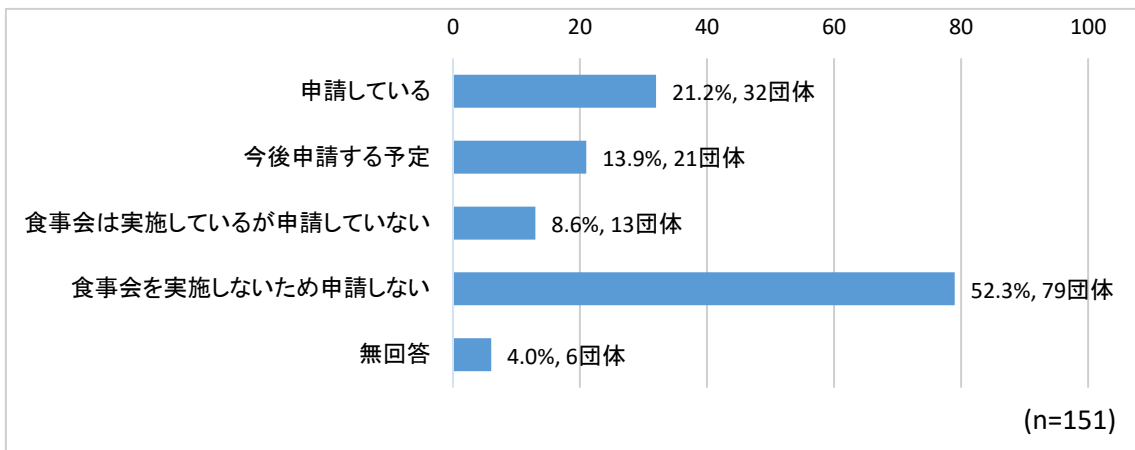
※会場の使用料、内訳

金額	団体数
1,000 円/月	5 団体
500 円/月	3 団体
1,200 円/月	2 団体
600 円/月	1 団体
1,600 円/月	1 団体
2,000 円/月	1 団体
2,000 円/年	1 団体
8,000 円/年	1 団体
記入なし	1 団体

(2) 令和3年度から食事会奨励金を新設しましたが、食事会奨励金を申請していますか？(季節的なイベントを除く通常の食事会について)

食事会奨励金は「食事会を実施しないため申請しない」が最も多く79団体で全体の52.3%を占めている。次いで「申請している」が32団体で21.2%、「今後申請する予定」が21団体で13.9%を占めている。

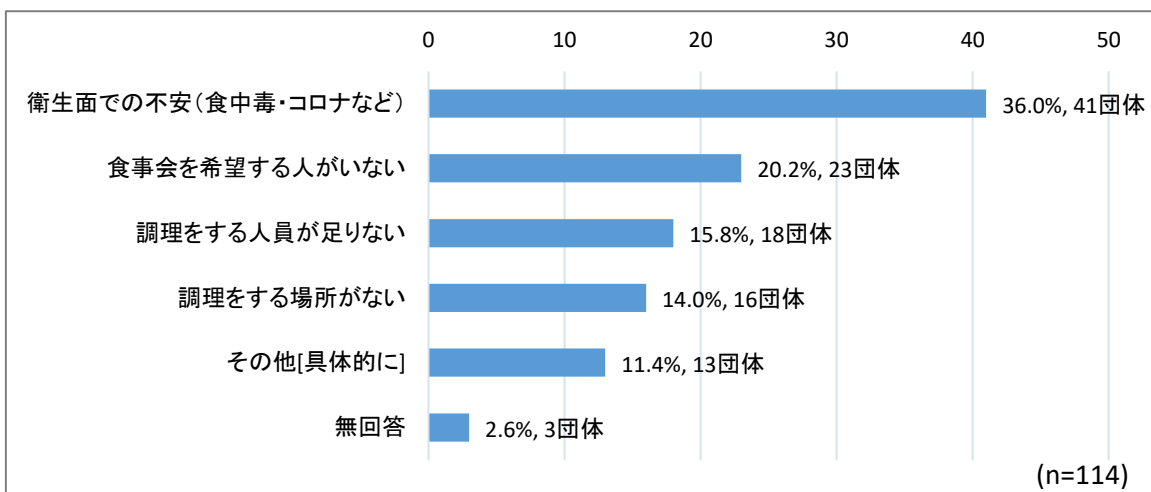
また「食事会を実施しているが申請していない」と回答した団体は13団体で8.6%を占めている。



(2) で「4. 食事会を実施しないため申請しないと回答した方」のみお答えください

① 食事会を実施しない理由を教えてください(複数回答可：2つまで)

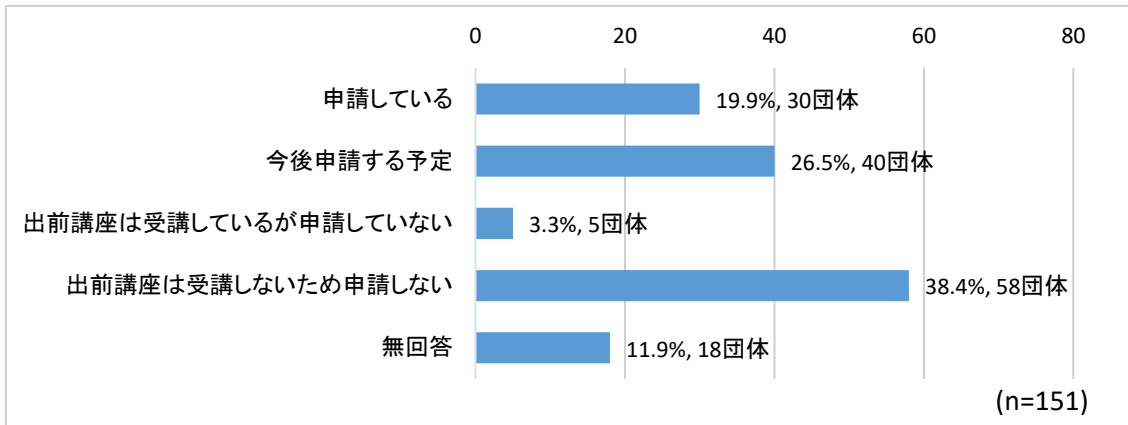
食事会を実施しない理由は「衛生面での不安(食中毒・コロナなど)」が最も多く41団体で全体の51.9%を占めている。次いで「食事会を希望する人がいない」が23団体で20.2%、「調理をする人員が足りない」が18団体で15.8%を占めている。



(3) 令和4年度から出前講座を受講した際に交付する介護予防奨励金を新設しましたが、介護予防奨励金を申請していますか

介護予防奨励金は「出前講座を受講しないため申請しない」が最も多く58団体で全体の38.4%を占めている。次いで「今後申請する予定」が40団体で26.5%、「申請している」が30団体で19.9%を占めている。

また「出前講座を受講しているが申請していない」と回答した団体は5団体で3.3%となっている。

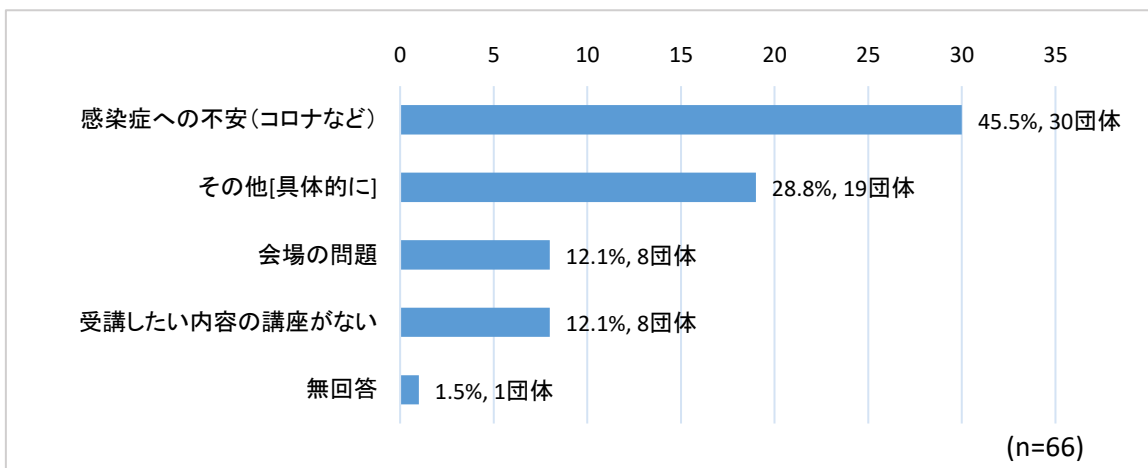


(3) で「4. 出前講座を受講しないため申請しないと回答した方」のみお答えください

① 出前講座を受講しない理由を教えてください (複数回答可: 2つまで)

出前講座を受講しない理由は「感染症への不安(コロナなど)」が最も多く30団体で全体の45.5%を占めている。次いで「その他」が19団体で28.8%を占めている。

その他には「参加者がすくないので」「耳が遠い人が多いので話が聞こえない」「グラウンドゴルフで歩くことや交流を目的としているので」等があげられている。



(4) 活動交付金のあり方についてご意見やご感想をご自由にご記入ください

意見	課題
<p>【肯定意見・現状報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頂いた交付金の範囲で1年間の計画をたてて実施しているので助かります。 ・交付金の範囲内で工夫して活用出来ている。 ・活動交付金はありがたいと思いますが、自分の健康の事なので自分でするのが「当たり前」と思っています ・交付金はありがたい。今のままでよい ・活動していく中で四季折々に食事やお茶会の楽しさを味わいそして仲良く無理なく活動が出来る。交付金はありがたい <p>【一律交付では不均衡ではないか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンの参加者数に応じて交付金を決めてもらいたい（参加者の多い団体について若干の増額をする） ・活動資金の援助は大変ありがたく思っている。交付金で運営しているが参加人数が多く活動支援者の手出しでいろいろとしている。これからもボランティア精神で取り組んで行きたい。 <p>【金額の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多ければ多いほどありがたい ・以前の交付金方式がよかった。今の1回2,000円は活動が窮屈になったと思う。年に10,000円があり「創意工夫してつかっていいよ」というのが活動しやすかった。 ・年々補助金を減額して会員の意欲が減少しています。当初通り60,000円+12,000円に復活してほしい。申請書を難しくするばかりで大変です。健康寿命1位の成績が寂しく思います。当初の予算に復活してください。 ・会場使用料、印刷代などもかかるので増額をお願いしたい ・グラウンドやグラウンド周囲の為に除草薬剤費が多い。1年に50回以上の活動を続けているので、3か月に12,000円の交付金では個人負担が重く、勧誘して良さは理解されるが、参加はしてくれない。交付金の12,000円の減額が会費の個人負担を増し厳しい活動になっている。 ・交付金の増額（一時的な補助でも。ゲートボールの道具等購入、コートの手入れに費用がかかる） ・交付金が減ったため活動範囲や種類が少なくなった ・活動内容によっては現状維持でよいと思うが、お花見など皆で外出する際の交通費を検討してほしい <p>【食事会奨励金について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は食事会の方向へ向いて交付されているが、食事会の実践と会員の交流の場の実践の2つの方向は必要であると思います。 ・食事会を実施し奨励金を申請し助かっている。ほかの趣味的活動も取り組めるようになった。 ・花見、紅葉狩りだけの弁当助成は限定されると日時等の調整がつかないので考え直して 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事会を実施しない団体については交付金の減額（2,500円→2,000円）による活動の縮小が懸念される ・食事会推進の意図を周知する必要がある。

ほしい

- ・ 食事は出席者が多い。料理教室外、お酒を伴う食事会にも補助金を出して欲しい
- ・ 食事会をしているが交付金が少ないのでスタッフがあるものを持ち寄り利用者には 300 円もらっている。
- ・ 食事は大切だが外食も地域のお店のためにもなるしお出かけでリフレッシュもできるので幅広く考えて支給してほしい。”お金をかけずに”と思っているが、自分のお金をかけてまでしている活動（サロン）があれば教えてほしい。
- ・ 食事会について交付金より材料費が高くつく。1 回 2,500 円から 2,000 円にしたのは運営上大変困る。食事は孤食を避けるためというが食事会はコロナ禍では無理だし、有効な活用方法とは思えない。
- ・ 戸外活動において食事会等の室内活動を取り入れることに抵抗がある人もいる。多様な活動は必要だとは思いますが、これをしないと交付金が今までよりも少なくなっていくのはどうかと思う
- ・ 当サロンは高齢化が進み食事の準備をできる人がいません。以前のように交付金を 2,500 円にしてもらえると茶話会でもっといろいろな工夫ができると思います。
- ・ 食事会奨励金についてよく理解できていない。物価も上がり計画作りが難しい。月によっては人数が多くなり（20 人以上）、茶菓代にもならない時がある。
- ・ 食事会の交付金はどの程度をいうのか。具体的に示してほしい
- ・ 食事会に関して責任者の負担が大きすぎる。買い物から片付け等。弁当を注文して食べてもいいのでは！
- ・ 食事会奨励金の意図がよく理解できない。「介護予防に資する活動」の中に「調理をする時間」が必要なのか疑問です。集まって会食するのが主目的になったほうが良いと思うが。

【介護予防奨励金について】

- ・ 介護予防奨励金対象の講座と対象外の講座があるので全て対象にしてもらいたい

【交付金申請書類の簡素化】

- ・ 高齢化したので書類を作る人が少ない。最初の時に返って簡単にしてほしい
- ・ 交付金請求の報告が面倒だという意見が多いようです。だからサロン活動は行うが報告は出さない。交付金を渡すためのサロン活動であってはならない。市内の老人全員に平等に対応すべき
- ・ 申請の方法を変更しないでほしい
- ・ 交付金請求の書類はできるだけ少なくしてほしい。請求が面倒だと次期役員になる人が少なくなります。もう一つは書類の提出を郵送でも可能にしてもらえたらと思う。役員になる二人のうち一人は必ず免許取得者になります。サロンには免許取得者が三名です。今から続けて行くためには三人が交代で必ず役員をするようになります。とても負担になりサロンを続けることが難しくなってくると思います。
- ・ 活動項目ごとに金額算出方法が決められているのがややこしい。

【交付金以外の困り】

- ・ 神社の境内使用していますが、猪・鹿の被害が大変でグラウンド整備が大変です

・ 活動の中心的な担い手の負担が大きい。

・ 申請書類の簡素化に向けた見直し
が求められている。

<ul style="list-style-type: none">・コロナ流行以降活動していない・サロン内で仲間はずれにされた人が何人か集まって別のサロンを結成している。行っている活動は同じような事。これっておかしい・・・・介護予防奨励金の出前講座を老人クラブ（百歳会）で受講させてサロン活動だけでなく、老人クラブ活動の連帯感（サロンに参加している組としていない組の）を持たせる	
--	--

問3 介護予防事業についてご意見やご感想をご自由にご記入ください

意見	課題
<p>【肯定的意見・現状報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前から出前講座は折に触れて活用していた。これはいい事業だと思う。必要を感じるサロンは以前から利用していたと思うが。 ・地域の仲間が公民館に集まり（特に1人暮らし）体操の後に会話、ゲーム等することで閉じこもりを防げる。参加した人が今日も楽しかったと喜んでくれる。 ・介護予防にサロン活動は大変役に立つと思う ・ゲーム中は勿論のこと、準備体操前休憩中和気あいあいの中、農作業、生活リズムや3度の食事や休んだ方の様子等交換懇談する笑顔や励まし合う人間関係に毎回接している。70才～90才の23名麗しい人間関係の中で2時間半に及ぶ活動に常に笑顔と元気をもらい合っている。 ・健康が第一。高齢者が心身ともにいつまでも健康でいられる様にこれからもサポートしてください。 ・老人クラブが解散し、高齢者から望まれて始めました。みなサロンの活動日を待っています。体操も皆当初より体が動いている様です。参加者の手出しなしで毎回ささやかな茶菓子も用意でき、ありがたい。独居の人も多く、皆に会い話ができることに感謝している。 ・サロンのメンバーは生き生きとしています。もっと人数がふえ、いろいろな交流ができるといいなと思う。 <p>【介護予防に関する周知が十分でない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国見町で介護予防に関する講話や講習をして欲しい ・住民に介護予防に関心を深めてもらうような活動を市・社協としても進めてもらいたい。会としても進めたいと思うがなかなか難しい ・予防法として元気な内に知識を得て実行したいと思っている。市からも今後は「介護予防事業」多く発信してもらいたい。 ・介護予防について市より指導して頂きたい ・食事をすれば健康寿命は延びるのか ・サロン活動は一つの大きな柱になっていると思う。新規設立をPRしてはどうか ・区民に自分の区に①介護予防のためにどんな活動の場が欲しいか、②あれば参加したいか、を調べて、それぞれの区はあったものをリーダーを探してスタートすれば区とつながりのある組織が出来そうです。区役員が必要を感じていない。区長を初め役員が必要だと思い、協力があればもっと活発になれる ・区を挙げて介護予防に取り組んで欲しい。区長会等機会のあるごとに議題に挙げてほしい。 ・出前講座を一度も利用したことがない。サロンメンバーだけでなく地区の人も声をかけ勉強したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の成果や効果は認識されている。今後さらに未実施地区への普及拡大の必要がある。 ・介護予防の重要性や市の取り組みの周知が十分でない。周知が求められている。

<p>【ノウハウの提供・共有、情報交換の場の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人がおらず年々高齢者ばかりの集団になっているので、誰かがお世話するのではなく、皆が互いに楽しみ合う会にしていきたい。他団体との交流（3～4人が他の団体を訪問し、活動内容や雰囲気などを参考にし合う）を推奨してもらいたい。 <p>【送迎・移動支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢になり動くことが億劫になり始めたので休止を考えている等の対応に車の送迎は？どう考えているのか学びたい。公民館が家から遠い、歩行時間が長いなどで通いづらい場合役員の送迎の責任問題はどうか <p>【世話人負担・成り手不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前だけで効果は少ない。健康サロンの原点に戻って健康の為に何をすればいいか検討してほしい。事務の煩雑化するばかりで世話をする人がおりません。何とか原点に戻って簡単に書類が出来るようにしてほしい。 ・以前は40人いたが今では10人ちょっとになりでもやめられない。お手伝いをしてくれる人が若い人で頑張っています。やれるだけ頑張りたい ・スタッフの高齢化や家族介護などで活動が制限されつつあるので後継者を発掘することが課題 ・サロン活動において場所、人数、講座の内容選択等配慮が難しい。 <p>【参加者の減少】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報などでもっと会員などの増加が出来る様何回も呼びかけて欲しい ・まだまだ来てほしい人が参加できていないので、集いの場での中身を参加しやすいものに充実していくことが課題である。 ・高齢になって体調の悪い人、引きこもりの人は事業に誘っても来ない。元気な人は仕事や趣味に忙しい。若い者は人の世話をしない風潮がある。寂しい限りだ。 ・声かけしても参加しない人、来てくれない人をどうするか難しい問題です。 <p>【交付金について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の言葉に迷わされずに健康サロンの原点に戻って補助金を出してほしい。 ・多くの人に参加できる環境づくりが大切である。これには多少の助成金を出すべきである。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座を強制的に実施しませんか？各自治区に実施希望日時を聞いて公民館等で行う。行政が火付け役になって第一歩を踏み出すことが大切 ・老人クラブにも「出前講座」の受講を呼びかけ何らかの奨励金を出してはどうか。同様に各自治区、班単位での「～講座」受講奨励を。 ・市民病院の出前講座をお願いしたい場合、人数10名以上となっていますが10名足りない場合は無理なのではないでしょうか？定数は11名だが急に参加できない場合がある。 ・介護予防事業は高齢者にとってありがたいと思う。サロンに参加する方や体の弱った方に介護保険の利用を進めてるが、初めは理解できなかった方も加齢と共に元気を維持するために介護保険を申請し介護予防事業を利用する方も増えてきました。住み慣れた我が家で元気に過ごせるように私は少しなりとも力になりたいとサロン活動している。これからも介護保険サービスの充実をお願いしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換の場の設定が求められている ・移動支援の必要性 ・地域活動の中心的な担い手の負担が大きく、なり手がいない。
---	--